



北海道版

北海道ノーマ・ヒバクシャ会館内
TEL/FAX 011-866-9545

● 発行所

北海道被爆者協会
札幌市白石区平和通

17 丁目北 6-7

北海道被爆者協会

ホームページ [http:// h-nomore-hibakusha.org](http://h-nomore-hibakusha.org)

メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp

思い新たに、核兵器のない世界を――

核兵器は抑止力にあらず 日本政府は被爆国としての責任を



会長
廣田凱則

ち、一日も早く核兵器禁止条約を批准し世界の核軍縮をリードしてほしいと思います。

ロシアの武力侵攻や北朝鮮の核開発、中台関係の緊張を利用して、岸田内閣は「敵基地攻撃能力」を持つ、と言っています。しかし攻撃は反撃を招きます。憲法九条にこめられた戦後日本の不戦の願いを決して忘れず、平和外交に徹してほしいと思います。

新年が明けました。皆さん、お変わりないでしょうか。まもなく3年になるコロナの一日も早い終息を願わずにはおられません。

他方ロシアがウクライナを侵攻して間もなく1年になります。ロシアは核兵器を使用すると威嚇して

武力侵攻を開始しただけでなく、核兵器は自衛のためにしかを使わな

いと言ってみたり、ICBMを実戦配備するとまで言っています。さらにウクライナ国内のザポリージャ

原発を軍事占領しています。核抑止論(核で戦争を防ぐ)が誤りであることは明白です。

岸田首相は「NPT(核不拡散条約)の維持・強化が核廃絶への唯一の現実的な道筋」と言ったようですが、とてもそうは思えません。日本は唯一の戦争被爆国として、核兵器は非人道兵器であるとの立場に立



理事(三笠)
中村政子

いつもご協力下さっています皆様、新年明けましてお目どうぞございます。

昨年を振り返りますと新型コロナウイルス感染症による不安、ロシアのウクライナへの侵略行為、何と

年之初めにあたり、少し人間とは？という問題を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。私たち人間は昔は猿でしたが、あ

国内の情勢では言論を暴力によつて封じ込めようとする行為、このような事は決して容認できるものではありません。

欲を持つようになった人間は、欲が満たされないと欲求不満になりイライラし喧嘩が始まり、その喧嘩

ウクライナから避難して来られた方々のお話を拝聴しました。どれほど痛い、悲しい、辛い思いをされた事でしょうか。

に勝つために武器を作るようになり、鉄砲、ミサイルとエスカレートしていき、ついに原爆を作り、それを1945年広島と長崎で使い多

今年は皆様と共に考え、求め、そして学び合う年でありたいと思っております。今年も1年皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

それ以降今日まで78年間はこの国へも原爆は使用されてはいませんが、最近世界の多くの国が原爆を所持し「使用するぞ」と脅しの外交を始めています。これが真の人間の実態です。我々被爆者はこれまで以上に声を大にしてこの非人道的武器の所持、使用の禁止を訴え続ける必要があるのです。



道南被爆者の会長
上谷宣正

みなさんあけましておめでとうございます。

武器の所持、使用の禁止を訴え続ける必要があるのです。